

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 213-0012
 住 所 川崎市高津区坂戸3丁目2番1号KSP西405
 氏 名 ケイエスピー熱供給株式会社
 代表取締役社長 吉田 建志

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	ケイエスピー熱供給株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 高津区坂戸3丁目2番1号 KSP西405		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	F	電気・ガス・熱供給・水道業
	中分類	35	熱供給業
主たる事業 の内容	熱供給事業法に基づいたかながわサイエンスパーク地域への熱供給		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,753	k J
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出量		t-CO ₂

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。

3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

基本方針

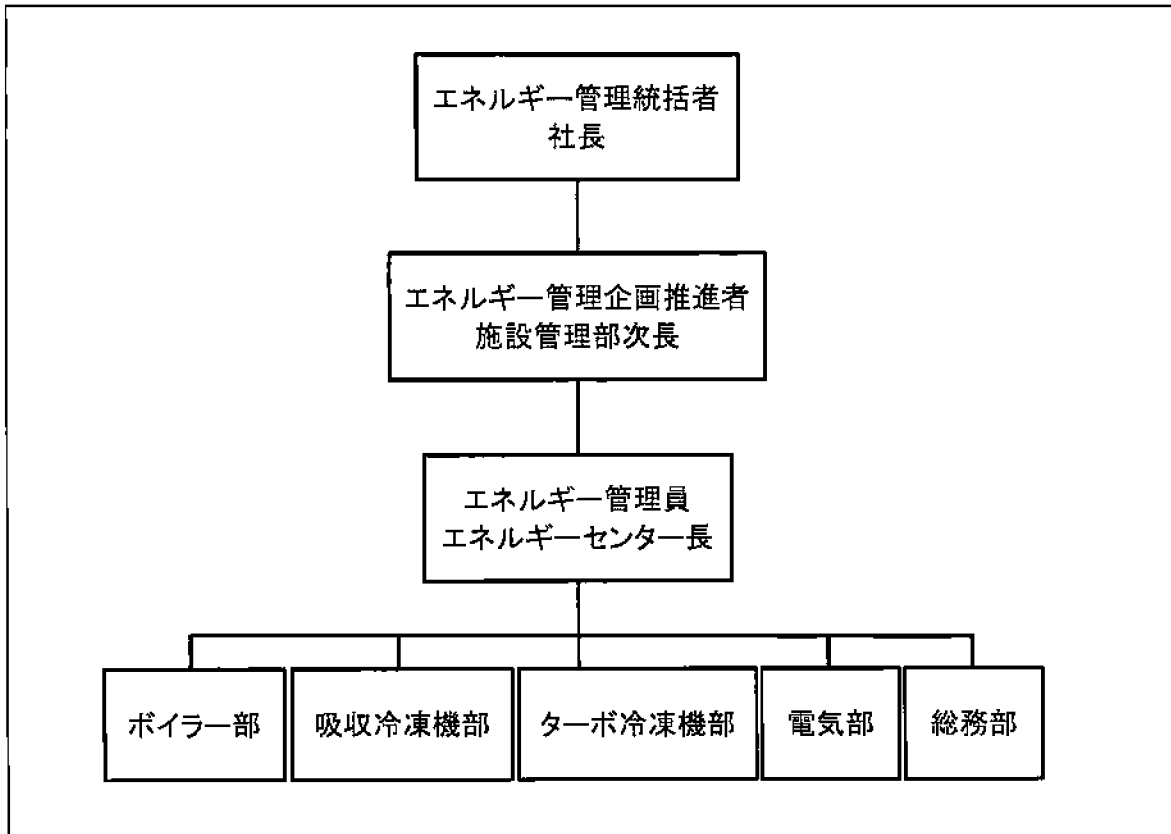
次の4つの方針により、地球温暖化対策に関する取組を組織的、継続的に推進する。

- 1 目標値を定め温室効果ガス排出量の削減に取組み、活動する。
- 2 計画期間（3年間）は、事業活動地球温暖化対策指針に基づき実施する。
- 3 熱供給設備の整備・維持管理によりロスを減らす。
- 4 熱供給設備の運転管理にあたっては、効率のよい運転を実施する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

- ① エネルギー管理統括者が削減対策の方針を決定する。
- ② エネルギー管理企画推進者が適宜削減対策のための運転指示を行う。
- ③ エネルギー管理企画推進者及びエネルギー管理員の指示により各部会が改善対策を実施する。
- ④ 各部会が運転データを測定し、エネルギー管理企画推進者及びエネルギー管理員が省エネ効果を検討する。
- ⑤ エネルギー管理統括者へ結果を報告し、エネルギー管理統括者が方針の見直しを行う。エネルギー管理企画推進者が適宜運転指示の見直しを行う。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基 準 年 度		2018				年度
目 標 年 度		2021				年度
基 準 排 出 量	(実)	729	(実)			
	(調)	678 t-CO ₂	(調)		t-CO ₂	
目 標 排 出 量	(実)	707	(実)			
	(調)	657 t-CO ₂	(調)		t-CO ₂	
削 減 量	(実)	22 t-CO ₂	(実)		t-CO ₂	
内 訳	対策実施による削減量	(実)	22 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
削 減 率	(実)	3.0 %	(実)		%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原 単 位 等 の 活 動 量		販売熱量			
原 単 位 の 単 位		t-CO ₂ /GJ			
基 準 年 度 の 値		0.01356			
目 標 年 度 の 値		0.01315			
削 減 率		3.0 %			

ウ 目標設定に関する説明

2018年度を基準年度とし、省エネ法に準じ、年平均1%以上削減することを目標に設定した。
--

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

なし

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	①高効率機器の優先運転 ②配管まわりの保温強化 ③プラント効率を上げる諸条件を探し運転効率を上げる ④燃焼調整の実施 ⑤機器の整備
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	/

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

①ガス焚冷温水機3台の更新 ②ターボ冷凍機3台の更新 ③ヒートポンプ冷凍機新設 ④トッランナー基準の変圧器へ更新 ⑤S B-1ボイラーメカトロ制御改造

(2) 再生可能エネルギー等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	○
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	川崎市温暖化対策推進会議（CC川崎エコ会議）へ参加し、川崎市が取り組む温暖化戦略（CCかわさき）に役に立つことができるよう一員として貢献したい。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	729	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

1,753	K L
-------	-----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
エネルギーセンター	川崎市高津区坂戸3-2-1	729 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂